

聖靈女子短期大學

平成17年度単位互換履修対象授業科目一覧

(聖 霊 短 大)

No.	ページ	授業科目名	担当教員	単位数	学期	受入数	開講学部等	曜日/時限	備考
1	7-1	キリスト教学Ⅱ	アンネリーゼ・デーケン	2	前期	若干名	文化コミュニケーション科	火/3,4	
2		キリスト教学Ⅱ	御子神 隆也	2	前期	若干名	生活文化科生活文化専攻	木/1,2	
3		キリスト教学Ⅱ	御子神 隆也	2	前期	若干名	生活文化科健康栄養専攻	木/3,4	
4		キリスト教学Ⅱ	御子神 隆也	2	前期	若干名	音楽科	金/1,2	
5	7-2	哲学A	御子神 隆也	2	前期	若干名	全科	水/1,2	
6	7-3	哲学B	御子神 隆也	2	後期	若干名	全科	水/1,2	
7	7-4	キリスト教学Ⅰ	アンネリーゼ・デーケン	2	後期	若干名	生活文化科健康栄養専攻	火/1,2	
8		キリスト教学Ⅰ	アンネリーゼ・デーケン	2	後期	若干名	生活文化科生活文化専攻	木/3,4	
9		キリスト教学Ⅰ	アンネリーゼ・デーケン	2	後期	若干名	音楽科	金/1,2	
10		キリスト教学Ⅰ	御子神 隆也	2	後期	若干名	文化コミュニケーション科	火/1,2	
11		キリスト教学Ⅰ	御子神 隆也	2	後期	若干名	文化コミュニケーション科	火/3,4	

【2年次・前期【講義】2単位 必修】生活文化科・文化コミュニケーション科・音楽科

《目 標》キリスト教の歴史・文化を学ぶことを通して、国際的な視野と普遍的な価値観を身につけ、人間らしく豊かに生きるための指針を探る。

《内 容》毎回定められたテーマ（授業計画参照）について、講義、小論文の作成を適宜組み合わせで行う。

《評価基準》①定期試験またはレポート・課題（70%） ②授業出席（30%）

《テキスト》『聖書―新共同訳・旧約聖書続編付き』（日本聖書協会）

ガエタノ・コンプリ著『ここに光を―喜びの福音』（ドン・ボスコ社）

石川康輔編『きょうの祈り』（ドン・ボスコ社）

《指定図書》なし。

《履修上の注意》特になし。

《授業計画》

1. 人間と宗教
2. 人間の尊厳について
3. 人生の意義について
4. 聖書が描く世界・人間（1）
5. 聖書が描く世界・人間（2）
6. 聖書が描く世界・人間（3）
7. 神の国と人間の希望（1）
8. 神の国と人間の希望（2）
9. 神の国と人間の希望（3）
10. キリスト教の死生観（1）
11. キリスト教の死生観（2）
12. キリスト教の死生観（3）
13. 教会と文化（1）
14. 教会と文化（2）
15. 定期試験

【1年次・前期〔講義〕2単位 選択】生活文化科・文化コミュニケーション科・音楽科

《目 標》世界や人生に関する真理を探究するための基礎的な知識を学び、人間らしく豊かに生きるために自ら考える姿勢を身につける。

《内 容》哲学概論。毎回所定のテーマ（下記「計画」参照）を取り上げ、それについて講義を行う。

《評価基準》①授業出席（20%） ②レポート（20%） ③筆記試験（60%）

《テキスト》なし（テーマごとに講義レジュメ、教材を配布する）。

《指定図書》なし。

《履修上の注意》特になし。

《授業計画》

1. 知ることの意味—人間にとって真理とは何か
2. 自然哲学（1）—古代ギリシャ哲学から
3. 自然哲学（2）—自然科学と宗教的自然観について
4. 存在論—プラトンとアリストテレス
5. 認識論（1）—合理論
6. 認識論（2）—経験論
7. 認識論（3）—カント、ヘーゲルの思想から
8. 知ることと信じること—理性と信仰との関わりについて
9. 言語哲学（1）
10. 言語哲学（2）
11. 哲学的人間論（1）
12. 哲学的人間論（2）
13. 哲学的人間論（3）
14. 価値論—倫理価値と人間の希望
15. 筆記試験

【1年次・後期〔講義〕2単位 選択】生活文化科・文化コミュニケーション科・音楽科

《目 標》人間として正しく善く生きること（倫理）について探究するための基礎的な知識を学び、人間らしく豊かに生きるために自ら考える姿勢を身につける。

《内 容》倫理学概論。毎回所定のテーマ（下記「計画」参照）を取り上げ、それについて講義を行う。また適宜、討論を交える。

《評価基準》①授業出席（20%） ②レポート（20%） ③筆記試験（60%）

《テキスト》なし（テーマごとに講義レジュメ、教材を配布する）。

《指定図書》なし。

《履修上の注意》特になし。

《授業計画》

1. 正しく生きることの意味—倫理とは何か
2. 善悪の基準に関する諸説（1）
3. 善悪の基準に関する諸説（2）
4. 自然道徳律—倫理の成立根拠に関する考察
5. カントの道徳哲学
6. シューラーの価値人格主義
7. 良心について（1）映画“Scent of a Woman”の観賞1
8. 良心について（2）映画“Scent of a Woman”の観賞2
9. 良心について（3）良心に関する考察と討論
10. 生命倫理（1）—概論：生命の尊厳とは何か
11. 生命倫理（2）—初期の生命をめぐる問題（出生前診断、優生思想）
12. 生命倫理（3）—終末期の生命をめぐる問題（尊厳死、安楽死）
13. 性と結婚の諸問題（1）—人間にとって性とは何か
14. 性と結婚の諸問題（2）—性と結婚の結びつき
15. 筆記試験

キリスト教学I

アンネリーゼ・デーケン、御子神隆也

【1年次・後期 [講義] 2単位 必修】生活文化科・文化コミュニケーション科・音楽科

- 《目 標》 キリスト教思想に基づく人間の生と死の理解を学ぶことを通して、人生の意義や人間の尊厳について考え、人間らしく豊かに生きるための指針を探る。
- 《内 容》 毎回定められたテーマ（授業計画参照）について、講義、小論文の作成を適宜組み合わせて行う。
- 《評価基準》 ①定期試験またはレポート・課題（70%） ②授業出席（30%）
- 《テキスト》 『聖書－新共同訳・旧約聖書続編付き』（日本聖書協会）
アルフォンス・デーケン著『キリスト教と私』（聖母の騎士社）
石川康輔編『きょうの祈り』（ドン・ボスコ社）
- 《指定図書》 なし。
- 《履修上の注意》 特になし。
- 《授業計画》

今を生きる

1. 私は誰？
生きがいとは何か？
2. キリスト教的人間像（1）
キリスト教的人間像（2）
3. イエスの言葉と生き方（1）
イエスの言葉と生き方（2）
4. イエスの言葉と生き方（3）
イエスと祈り
5. イエスの死と復活（1）
イエスの死と復活（2）
6. 苦しみの意義
人間の救いと希望（1）
7. 人間の救いと希望（2）
定期試験
- 8.
- 9.
- 10
- 11
- 12
- 13
- 14
- 15